



2023年2月3日

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン  
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598106  
アウディコミュニケーション センター

## 国内自動車ディーラー初となるカーボンニュートラル店舗運営を 実現した「Audi 浜松」で「Audi Sustainable Future Meeting」を開催

- 日本国内自動車ディーラー初のカーボンニュートラル店舗「Audi 浜松」を訪問
- 店舗屋上のソーラーパネルにて容量 150kW、年間 173 千 kWh を発電
- 電気自動車 e-tron に再生可能エネルギーを充電することでオーナーも CO2 排出量の削減に貢献

アウディ ジャパン (東京都品川区: ブランド ディレクター マティアス シェーパース) は、2023 年 1 月 27 日、日本国内のディーラー初となるサーラカーズジャパン株式会社(愛知県豊橋市: 坂爪謙治、以下「サーラカーズ」)が運営するカーボンニュートラル店舗である Audi 浜松を訪問し、将来の持続可能な店舗運営について議論しました。この「Audi Sustainable Future Meeting」は、昨年来アウディが取り組む持続可能な社会に向けて業界の垣根を越えて対話を行う「Audi Sustainable Future Tour」の一環であり、これまで訪問した岡山県真庭市、岩手県八幡平市に次ぐ訪問です。アウディが電気自動車 e-tron を導入し、環境に貢献するのみならず、アウディのブランドビジョンである「Future is an attitude」を通じ、CO2 の排出削減や地球温暖化など持続可能な社会の実現の重要性について、一人ひとりが考えるきっかけを作っていくことが目的です。

サーラカーズは、店舗など自社施設のカーボンニュートラル化を進めており、2023 年 1 月 5 日より同社が運営する Audi 浜松にて実質的に CO2 排出量ゼロの電気・ガスを使用した店舗運営を開始し、日本国内の自動車ディーラー初となるカーボンニュートラル店舗となりました。店舗屋上には、容量 150kW、年間 173 千 kWh を発電するソーラーパネルを設置し、発電した電力を購入・自家消費を行います。発電電力が不足する場合は、同社のグループ会社の提供する CO2 フリー電力を購入し使用します。

Audi 浜松で開催された「Audi Sustainable Future Meeting」において、アウディ ジャパンブランドディレクターのマティアス シェーパースは「CO2 排出を抑えるという企業としての使命がある一方で走ることを楽しむというモビリティに対する考えは変えるべきではありません。それらを叶える唯一のソリューションは EV であり、その普及のために必要な急速充電ネットワークの拡充が急務です。今回の Audi 浜松については、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組むサーラカーズの企業理念に感銘を受けると共に、自動車ディーラーとして日本初となるカーボンニュートラル店舗がアウディのディーラーで実現したことを嬉しく思います。引き続きディーラーの皆さまと連携し持続可能な社会の実現を目指していきたい」とコメントしました。

Audi 浜松を運営するサーラカーズ ジャパン株式会社 代表取締役社長 坂爪 謙治氏は次のように述べました。「自社で使うエネルギーを CO2 フリーにすることは企業の社会的責任であり、今回の Audi 浜松での取り組みはその重要な一歩です。店舗に設置されている急速充電器を通してオーナーが e-tron に再生可能エネルギーを充電することで走行過程における CO2 排出量をゼロにし、持続可能な社会の実現に貢献することができます。サーラカーズジャパンでは今後浜松で運営する他の店舗においても順次カーボンニュートラル化を推進していく予定です」。

サーラカーズの親会社である株式会社サーラコーポレーション代表取締役社長兼グループ代表・CEO

神野 吾郎氏は、「サーラコーポレーションとして、グループ全体で持続可能な地域社会の実現を目指し、我々が提供する様々なサービスを通してこれを実現していきたい。その一環として今回の Audi 浜松のカーボンニュートラル化を全国に先駆けて達成できたことは非常に喜ばしく思っており、今後もアウディと共に店舗などのカーボンニュートラル化をリードしていきたい」と述べました。

Audi 浜松が所在する静岡県浜松市からは、副市長 長田 繁喜氏が参加し、「環境省が掲げる 2050 年のカーボンニュートラル実現のためには、行政だけでなく市民一丸となった取組みが不可欠であり、民間企業との連携がカギとなる。浜松市として、今回の Audi 浜松の取組みを足掛かりとして、民間企業と連携しながら様々な取組みを行っていきたい」と語りました。

また、同市のカーボンニュートラル推進に取り組んでいるカーボンニュートラル推進事業本部 本部長 村上 隆康氏は、「浜松市において多様な再生可能資源を活用し、官民連携を通じてエネルギー・スマートシティの実現を目指します。特に、日照時間が日本トップクラスの浜松市ではその特色を生かし 2050 年に再生可能エネルギーによる電力の自給率 100%を目指し、今回の Audi 浜松のような地域内の経済循環を増やしていきたい」と語りました。

今後もアウディ ジャパンでは e-tron と巡る「Audi Sustainable Future Tour」を通し、持続可能な社会の実現の重要性について積極的に発信してまいります。